



# 2024年3月期 第3四半期決算報告

2024年2月8日

株式会社 **ニコン**

1. 2024年3月期 第3四半期決算報告

2. 2024年3月期 通期見通し

## Q3累計実績 (前年比)

- 売上収益 : 5,289億円 (前年比 729億円増)
- 営業利益 : 344億円 (前年比 162億円減)
- 当期利益\* : 249億円 (前年比 145億円減)
- 売上収益は、映像事業の好調な販売や、半導体のArF露光装置の販売台数増加に加え、デジタルマニュファクチャリング事業でのSLM社の連結子会社化に伴い増収
- 営業利益は、FPD露光装置の販売台数の減少、コンポーネント事業の減収による減益、SLM社買収に伴う費用増加等により減益

## Q3実績 (前年比)

- 売上収益 : 1,977億円 (前年比 300億円増)
- 営業利益 : 208億円 (前年比 54億円減)
- 当期利益\* : 151億円 (前年比 55億円減)
- 売上収益は、映像事業の好調な販売や、半導体およびFPD露光装置の販売台数増加に加え、デジタルマニュファクチャリング事業でのSLM社の連結子会社化に伴い増収
- 営業利益は、ヘルスケア事業での一時費用およびSLM社買収に伴う費用増加等により減益

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2024年3月期 Q3累計：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 Q3累計実績	24年3月期 Q3累計実績	前年比	
			増減額	増減率
売上収益	4,560	<b>5,289</b>	+729	+16.0%
営業利益	506	<b>344</b>	▲162	▲32.0%
営業利益率	11.1%	6.5%	▲4.6P	
税引前利益	523	<b>362</b>	▲161	▲30.8%
税引前利益率	11.5%	6.8%	▲4.7P	
当期利益*	394	<b>249</b>	▲145	▲36.7%
当期利益率	8.7%	4.7%	▲4.0P	
FCF	▲224	▲22	+202	-
為替：USドル	136円	<b>143円</b>	売上収益への影響 +175	
ユーロ	141円	<b>155円</b>	営業利益への影響 +32	

FCFは運転資本の改善や有価証券の売却等でQ3にプラスに転じ、累計のマイナスは縮減

\* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 2024年3月期 Q3累計：セグメント別業績



単位：億円

		23年3月期 Q3累計実績	24年3月期 Q3累計実績	前年比	
				増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,844	<b>2,219</b>	+375	+20.4%
	営業利益	412	<b>429</b>	+17	+4.2%
	営業利益率	22.4%	19.4%	▲3.0P	
精機事業	売上収益	1,335	<b>1,545</b>	+210	+15.7%
	営業利益	143	<b>111</b>	▲32	▲22.7%
	営業利益率	10.8%	7.2%	▲3.6P	
ヘルスケア事業	売上収益	721	<b>768</b>	+47	+6.5%
	営業利益	72	<b>29</b>	▲43	▲59.8%
	営業利益率	10.1%	3.8%	▲6.3P	
コンポーネント事業	売上収益	374	<b>323</b>	▲51	▲13.6%
	営業利益	157	<b>116</b>	▲41	▲25.9%
	営業利益率	42.1%	36.1%	▲6.0P	
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	260	<b>409</b>	+149	+57.1%
	営業利益	▲38	▲128	▲90	-
	営業利益率	▲14.7%	▲31.3%	▲16.6P	
その他（含、全社費用等）	売上収益	25	<b>23</b>	▲2	▲7.3%
	営業利益	▲242	▲214	+28	-
連結	売上収益	4,560	<b>5,289</b>	+729	+16.0%
	営業利益	506	<b>344</b>	▲162	▲32.0%
	営業利益率	11.1%	6.5%	▲4.6P	

前年比、映像事業以外のセグメントでは減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 Q3：映像事業



	23年3月期		24年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	699	1,844	<b>843</b>	<b>2,219</b>	+144	+375
営業利益	190	412	<b>177</b>	<b>429</b>	▲13	+17
営業利益率	27.2%	22.4%	<b>21.1%</b>	<b>19.4%</b>	▲6.1P	▲3.0P
レンズ交換式 デジタルカメラ	21万台	58万台	<b>25万台</b>	<b>64万台</b>	+4万台	+6万台
交換レンズ	32万本	93万本	<b>37万本</b>	<b>98万本</b>	+5万本	+5万本

- 前年比（Q3累計）**：Z 8、Z fを中心としたミラーレスカメラおよびミラーレスカメラ用交換レンズの販売台数増加に加え、中高級機カメラへの注力により平均販売単価が上昇、円安効果もあり増収増益  
 Q3は20%を超える営業利益率を確保

# 2024年3月期 Q3：精機事業



	23年3月期		24年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
単位：億円						
売上収益	502	1,335	585	1,545	+83	+210
営業利益	81	143	79	111	▲2	▲32
営業利益率	16.2%	10.8%	13.5%	7.2%	▲2.7P	▲3.6P
FPD露光装置	6台	19台	7台	11台	+1台	▲8台
半導体露光装置 新品／中古	6/4台	14/12台	11/1台	22/4台	+5/▲3台	+8/▲8台

- 前年比（Q3累計）**：ArF半導体露光装置の販売台数は前年比で増加、さらに、Q3に大型パネル用FPD露光装置を3台計上し増収  
 営業利益は、Q3累計のFPD露光装置の販売台数減少とサービス収益の減少により減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 Q3：ヘルスケア事業



単位：億円	23年3月期		24年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	255	721	256	768	+1	+47
営業利益	36	72	2	29	▲34	▲43
営業利益率	14.1%	10.1%	0.6%	3.8%	▲13.5P	▲6.3P

- 前年比（Q3累計）**：Q3の売上収益は、部品調達の問題による一部売上の繰延が発生したものの、ライフサイエンスの北米や中国での販売が増加し、円安効果もあり増収  
 営業利益は、部品価格の上昇に加え、棚卸資産の廃棄・評価損やQ2に計上したアイケアの引当金（▲14億円）と関連する調査等の一時費用により減益

# 2024年3月期 Q3 : コンポーネント事業



単位 : 億円	23年3月期		24年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	118	374	<b>136</b>	<b>323</b>	+18	▲51
営業利益	44	157	<b>57</b>	<b>116</b>	+13	▲41
営業利益率	37.7%	42.1%	<b>42.4%</b>	<b>36.1%</b>	+4.7P	▲6.0P

- **前年比 (Q3累計)** : 半導体デバイスメーカーの稼働率低下による光学部品の需要減退に加え、半導体関連以外の特注品、エンコーダの販売も減少し減収減益も、Q3は計画通り

注: 23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 Q3：デジタルマニュファクチャリング事業



単位：億円	23年3月期		24年3月期		前年比	
	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計	Q3	Q3累計
売上収益	98	260	148	409	+50	+149
営業利益	▲10	▲38	▲33	▲128	▲23	▲90
営業利益率	▲9.5%	▲14.7%	▲22.0%	▲31.3%	▲12.5P	▲16.6P

- 前年比（Q3累計）**：SLM社の連結子会社化により増収になったものの、同社の営業損失に加え、買収により取得した無形資産の償却費、産業機器事業における先行投資の増加、円安による経費増加により減益  
 Q3はSLM社の売上増加により営業損失がQ2（▲48億円）より縮減

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

1. 2024年3月期 第3四半期決算報告

2. 2024年3月期 通期見通し

# 2024年3月期 通期見通し：ポイント



## 売上収益

- **全社見通し 7,050億円**（前回予想から150億円上方修正）
  - 精機事業：主にFPD露光装置の販売台数増加により、130億円上方修正
  - ヘルスケア事業：ライフサイエンスの販売増とQ3の円安効果を踏まえ、20億円上方修正

## 営業利益

- **全社見通し 360億円**（前回予想から20億円上方修正）
  - 映像事業：Q3の円安効果を踏まえ、10億円上方修正
  - 精機事業：主にFPD装置事業の増収に伴う増益により、40億円上方修正
  - ヘルスケア事業：一時費用等により、30億円下方修正

## 当期利益\*

- **全社見通し 270億円**（前回予想据え置き）

## 株主還元

- **期末配当金25円、年間配当金50円**（前回予想据え置き）

## 為替前提

- **USD 143円、ユーロ 154円**（Q4前提は、USD 140円、ユーロ 150円で前回予想据え置き）

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 2024年3月期 通期見通し：財務ハイライト



単位：億円	23年3月期 実績	前回予想 (11/9)	今回予想 (2/8)	前年比	前回予想比
売上収益	6,281	6,900	<b>7,050</b>	+769	+150
営業利益	549	340	<b>360</b>	▲189	+20
営業利益率	8.7%	4.9%	<b>5.1%</b>	▲3.6P	+0.2P
税引前利益	570	370	<b>370</b>	▲200	±0
税引前利益率	9.1%	5.4%	<b>5.2%</b>	▲3.9P	▲0.2P
当期利益*	449	270	<b>270</b>	▲179	±0
当期利益率	7.2%	3.9%	<b>3.8%</b>	▲3.4P	▲0.1P
ROE	7.4%	4.2%	<b>4.2%</b>	▲3.2P	±0.0P
EPS	125.46円	77.96円	<b>77.96円</b>	▲47.50円	±0.00円
年間配当	45円	50円	<b>50円</b>	+5円	±0円
為替：USドル	135円	141円	<b>143円</b>	売上収益への予想影響	
				+216	+55
ユーロ	141円	152円	<b>154円</b>	営業利益への予想影響	
				+41	+11

\* 親会社の所有者に帰属する当期利益

注：予想EPSの前提となる発行済株式数：前回予想・今回予想ともに約346.3百万株

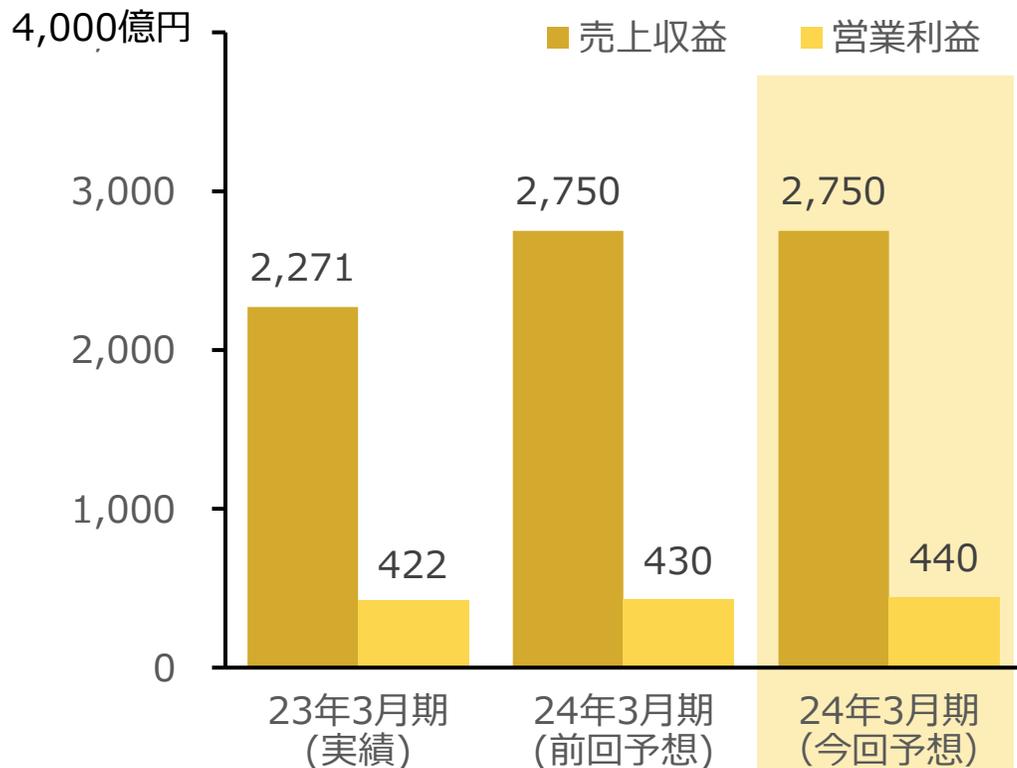
# 2024年3月期 通期見通し：セグメント別見通し



単位：億円		23年3月期実績	前回予想 (11/9)	今回予想 (2/8)	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,271	2,750	<b>2,750</b>	+479	±0
	営業利益	422	430	<b>440</b>	+18	+10
	営業利益率	18.6%	15.6%	<b>16.0%</b>	▲2.6P	+0.4P
精機事業	売上収益	2,032	2,000	<b>2,130</b>	+98	+130
	営業利益	245	80	<b>120</b>	▲125	+40
	営業利益率	12.1%	4.0%	<b>5.6%</b>	▲6.5P	+1.6P
ヘルスケア事業	売上収益	993	1,030	<b>1,050</b>	+57	+20
	営業利益	115	95	<b>65</b>	▲50	▲30
	営業利益率	11.7%	9.2%	<b>6.2%</b>	▲5.5P	▲3.0P
コンポーネント事業	売上収益	530	470	<b>470</b>	▲60	±0
	営業利益	220	150	<b>150</b>	▲70	±0
	営業利益率	41.6%	31.9%	<b>31.9%</b>	▲9.7P	±0.0P
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	420	620	<b>620</b>	+200	±0
	営業利益	▲101	▲130	<b>▲130</b>	▲29	±0
	営業利益率	▲24.1%	▲21.0%	<b>▲21.0%</b>	+3.1P	±0.0P
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	30	<b>30</b>	▲2	±0
	営業利益	▲353	▲285	<b>▲285</b>	+68	±0
連結	売上収益	6,281	6,900	<b>7,050</b>	+769	+150
	営業利益	549	340	<b>360</b>	▲189	+20
	営業利益率	8.7%	4.9%	<b>5.1%</b>	▲3.6P	+0.2P

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 通期見通し：映像事業



## ● 売上収益：前回予想比据え置き（前年比 479億円増収）

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は中国を中心に拡大
- 当社は、新製品（Z 8、Z f）の販売が好調に推移
- ミラーレスカメラおよびミラーレスカメラ用交換レンズへのシフトが進展
- 中高級機へのシフトによる平均販売単価の上昇に円安効果も加わり、前年比で増収

## ● 営業利益：前回予想比 10億円増益（前年比 18億円増益）

- 前回予想比では、Q3での円安効果を反映し、10億円引き上げ
- 前年比では、調達部品価格の上昇、販売促進費等の増加があるものの、レンズ交換式デジタルカメラおよび交換レンズの販売台数増加、平均販売単価上昇に加え、円安効果により増益

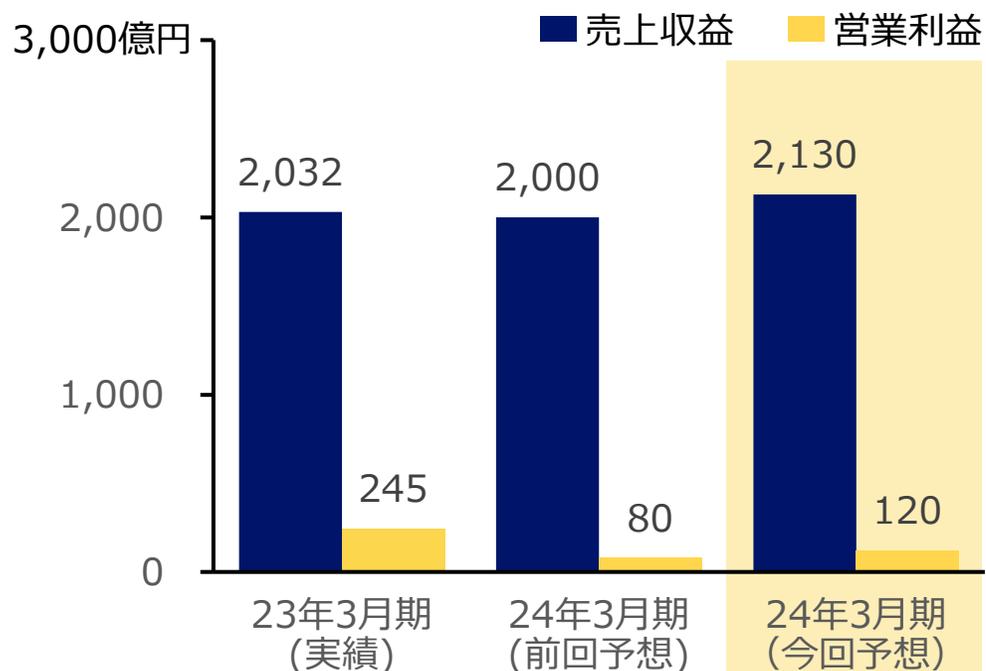
### レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	581	630	610
ニコン	70	80	80

### 交換レンズ（万本）

市場規模	940	1,000	980
ニコン	116	125	125

# 2024年3月期 通期見通し：精機事業



FPD露光装置販売台数 (台)			
市場規模 (CY22/23)	79	45	46
ニコン	29	13	16
半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)			
市場規模 (CY22/23)	480	430	520
ニコン	27/18	30/16	30/12

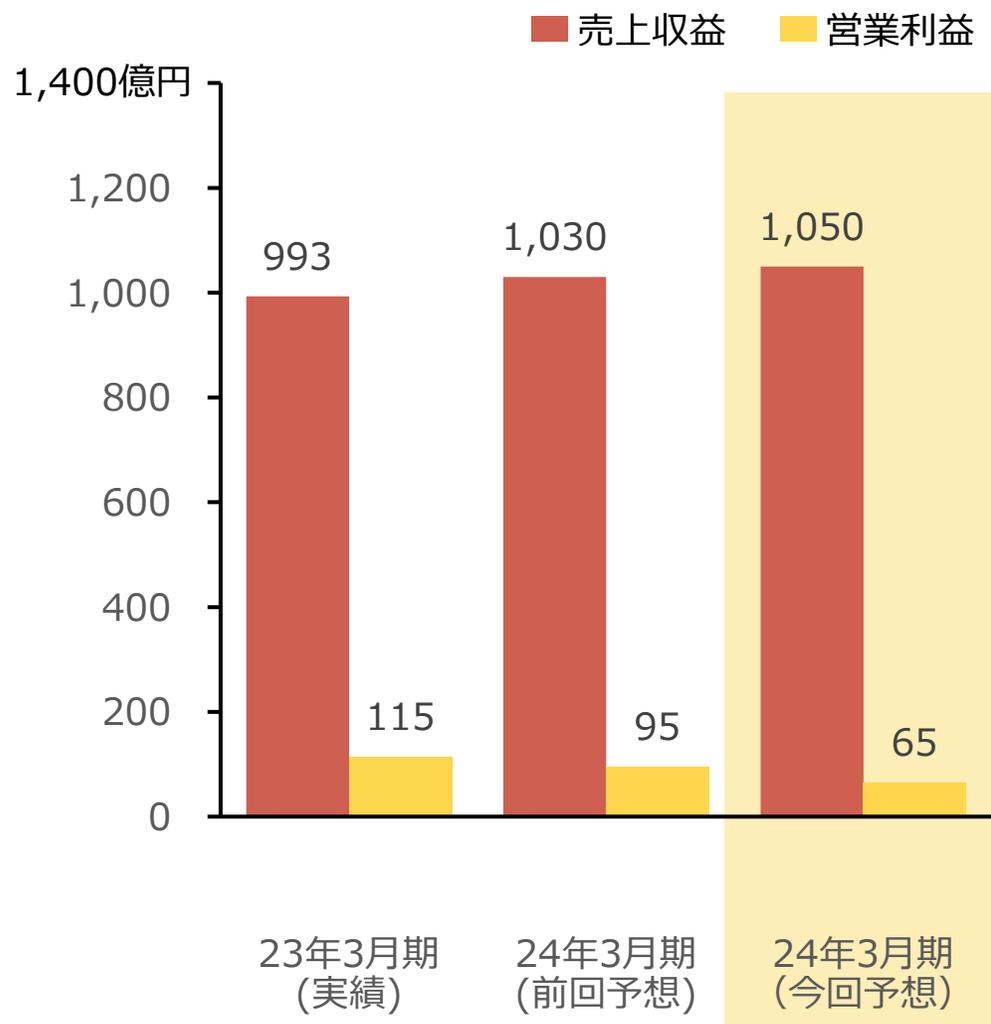
## ● 売上収益：前回予想比 130億円増収（前年比 98億円増収）

- 前回予想比では、主に大型パネル向けFPD露光装置の販売台数増により130億円引き上げ
- 前年比では、FPD露光装置の販売台数は、顧客の設備投資の繰り延べにより大幅に減少するものの、半導体露光装置の販売台数は、ArF露光装置を中心に増加し、精機事業全体では増収

## ● 営業利益：前回予想比 40億円増益（前年比 125億円減益）

- 前回予想比では、主にFPD装置事業の増収に伴う増益により、40億円引き上げ
- 前年比では、FPD露光装置の販売台数減や、半導体装置事業でのサービス収益の減少等により、精機事業全体でも減益

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値



## ● 売上収益：前回予想比 20億円増収（前年比 57億円増収）

- 前回予想比では、ライフサイエンスでの中国・アジア地域での販売増やQ3の円安効果を反映し、20億円上方修正
- ライフサイエンスは、民間市場の開拓や創薬支援・ソリューションの強化により、北米、中国を中心とした拡販を見込む
- アイケアは、眼科診断機器市場は安定的成長も、前年の大口商談影響剥落により、前年並みを見込む

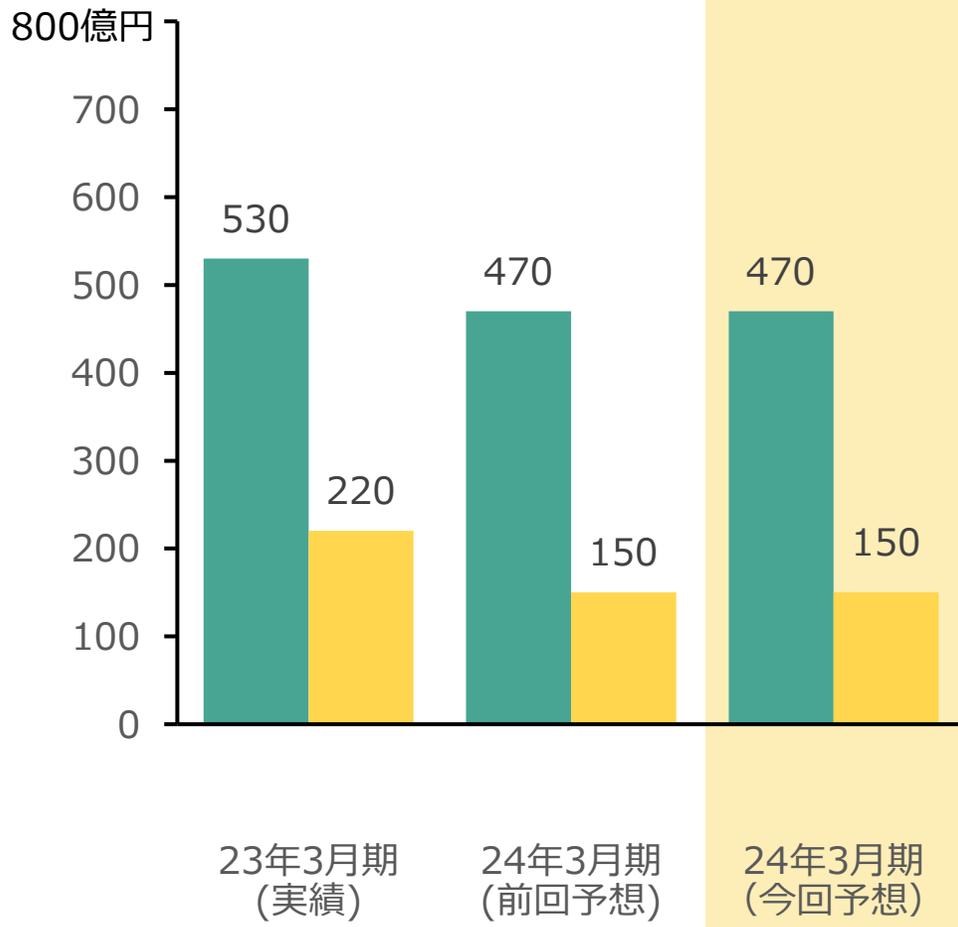
## ● 営業利益：前回予想比 30億円減益（前年比 50億円減益）

- 前回予想比では、棚卸資産の廃棄・評価損やQ2に計上したアイケアの引当金に関連する調査等の一時費用により、30億円引き下げ

# 2024年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



■ 売上収益 ■ 営業利益



## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 60億円減収）

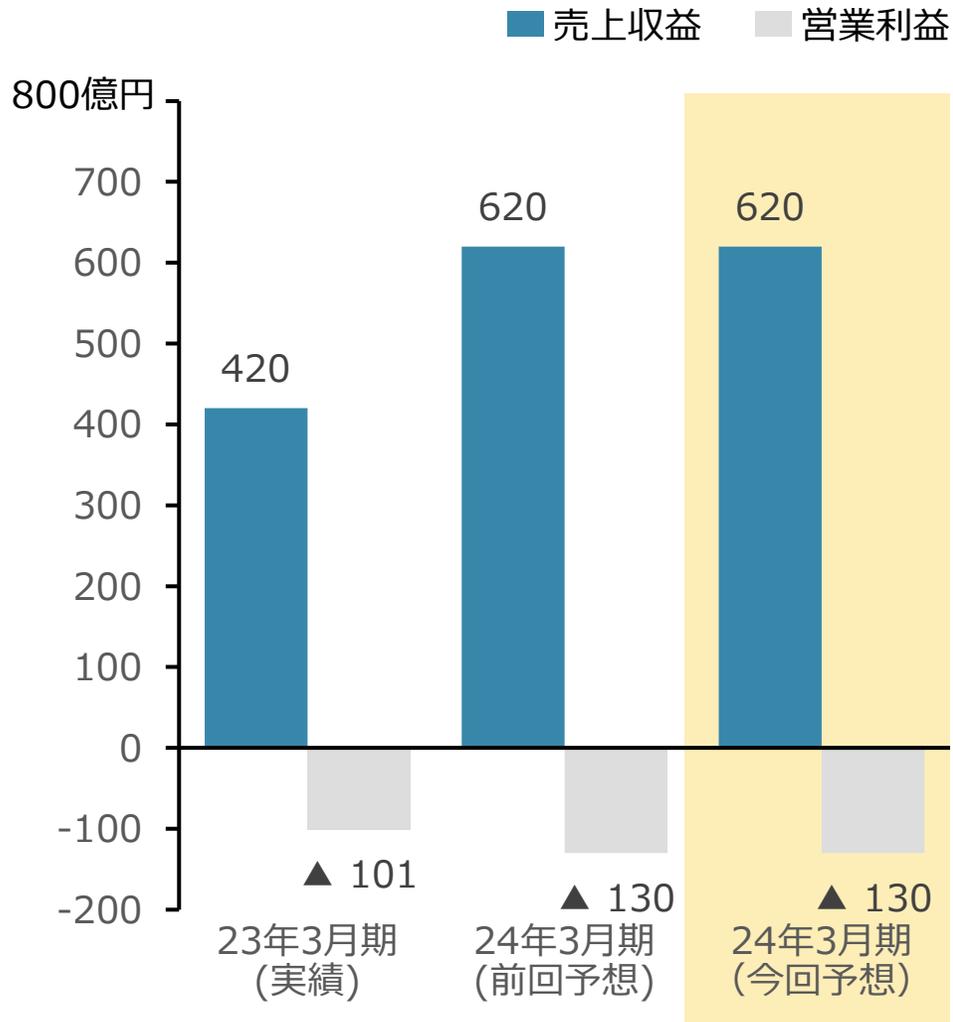
- 半導体市場は回復の兆しは見えるも、顧客の需要回復に至っておらず、前回予想を据え置き
- 半導体デバイスメーカーの稼働率低下による光学部品の需要への影響や、顧客の生産調整や投資の後ろ倒しによるEUV関連コンポーネントおよび光学コンポーネントへの影響は継続

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 70億円減益）

- 上記の通り、顧客からの当社製品需要に変化はなく、予想は据え置き

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

# 2024年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



## ● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 200億円増収）

- 産業機器事業では画像測定システムやX線/CT検査装置等の拡販により増収を見込む
- 前年度に買収したSLM社が年間を通してアドバンストマニュファクチャリング（ADM）事業の業績に寄与し、売上収益はセグメント全体で620億円を見込む

## ● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 29億円減益）

- 産業機器事業は販売増による増益を見込むものの、先行投資や一時的な部材高騰の影響により前年比減益
- ADM事業は、年間を通じてSLM社の営業損失と無形資産償却費が計上されることや、事業基盤強化のための先行投資により、前年比で営業損失が拡大する見込み
- デジタルマニュファクチャリング事業全体で営業赤字の見込み

<参考情報>

SLM社買収に伴う無形資産償却費見込額（年間）39億円

注：23年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値